しあわせ

Happiness

vol.512
2015年1月

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

笠森観音(長生郡長南町)

●ひとりで悩んでいませんか?　くらし何でも無料相談
ちばライフサポートセンター
0120-53-4141

2015年　年頭挨拶

「利用促進と共助拡大」で運動の基盤強化を！

（一社）千葉県労働者福祉協議会　会長　黒河　悟

新年あけましておめでとうございます。千葉県労働者福祉協議会を代表して年頭のご挨拶を申しあげます。

昨年は、国の公益法人制度改革に伴い4月から当協議会は一般社団法人として再出発いたしました。また、7月には結成50年を迎えました。このように、大きな節目となる1年でありましたが、役職員はもとより関係する皆様、そして何よりも会員団体とその構成員の皆様のお支えにより活動を推進できたことに心より感謝申し上げる次第です。

とりわけ千葉県労福協は、この節目の年に結成以来初めてと言ってもよい、自治体からの業務を受託するという分野に挑戦することとなりました。野田市の「生活困窮者自立促進支援モデル事業」ですが、委託元の野田市、事業を推進するために当協議会が雇用した職員の皆さんの努力は勿論のこと、これまで私たちが取り組み蓄積してきたライフサポートセンターでの経験や支援のネットワークが事業の展開に大きく貢献しています。本年再度受託できれば2年目になりますが、この取り組みは4月からは全国的な本格実施の事業となるわけですから、当協議会と現場が昨年以上に力を合わせて全国に胸の張れる事業の展開をめざしたいと思います。なにとぞ皆様のお力添えを宜しくお願いいたします。

さて、年末には慌ただしい中衆議院の解散、総選挙が行われ結果はご案内の通りでした。選挙には各政党、候補者から様々なことがそれぞれから訴えられていましたが、明らかなことは「貧困と格差」は未だ克服されていない、いやむしろ深刻になっているということです。これは、数字に如実に現れています。雇用が100万人増えたといっても、正規は20万人減り、非正規が120万人増えています。結果、非正規は初めて2000万人を超え、働く人の約4割を占めようとしています。年収200万円以下の人も1100万人を突破してしまいました。預貯金無しの人も30％となっています。生活保護も高止まりの状態です。このような状況であるからこそ、ますますこの社会には共助・公助が必要になっています。「働く者の幸せと豊かさを実現する」という労働者福祉の目標、目指すものをしっかりと持ってこの1年奮闘して参りたいと思います。

そして、そのためには労働者自主福祉運動の創業の精神である「福祉はひとつ」の理念の下、労金や労済など協同事業団体の「利用促進と共助拡大」を合い言葉にした運動の展開が何よりも大切です。今、最も労働組合や労働者自主福祉事業を必要としている人に労金や労済の制度を使うことができるようにすると共に、組合加入や組合作りを援助していくことが喫緊の課題ですが、そのことを推進するためにも既に労働組合に加入していながら、労金や労済に未だ加入していない隣の組合員にその利用の促進を働きかけることは、労働者自主福祉運動の基盤を強化することであり、両者は車の両輪の取り組みとして重要です。

このように千葉県労働者福祉協議会は結成51年目の本年を、結成の原点に帰って労働者自主福祉活動の強化に努める年にして参りたいと思います。会員団体と構成員の皆様には引き続きの当協議会へのご支援を心よりお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。

より魅力的な保障の生協を目指して

全労済千葉県本部
本部長　細根　洋

新年明けましておめでとうございます。旧年中は全労済運動の取組みにご協力を頂き、あらためてお礼申し上げます。

昨年も大雪、台風、土砂災害、地震と大きな災害に見舞われました。また御嶽山の噴火では尊い生命が犠牲になるなど、あらためて自然災害の恐ろしさを痛感しました。

全労済は「住いと暮らしの防災・保障点検運動」と併せ、日頃からの防災意識の向上に取り組んできました。

昨年の12月、全労済の出発点である「火災共済」の事業がスタートしてから60年が経過いたしました。事業開始以降、加入拡大と全国組織化を進めるなかで、多くの組合員の皆さまにご利用頂いてまいりました。これまでも大きな災害を経験しましたが、1995年1月の阪神・淡路大震災の教訓を活かし「被災者生活再建支援制度」の実現や自然災害共済制度の実施へと結びつきました。事業開始60年を契機に2月に新たに「住まいる共済」の愛称のもと、制度改定を実施いたします。引き続き多くの皆さまにご利用を頂きたいと存じます。

さて千葉県本部では本年1月から今までの千葉、南支所を中部支所に、船橋、柏支所を西部支所の2支所に統合します。また共済ショップ柏、松戸店の移設、船橋店のリニューアル、更に3月にショップ成田店開設に向けた準備を進めています。職域を担当した事業推進部一部を推進統括部に、地域を担当した事業推進二部をダイレクト推進部に名称を改め、業務管理部、総務部の四部制とし、「暮らしの安心・安全」そして組合員の皆さまのご期待に応えられる事業運営を進めてまいります。引き続きのご協力をお願い申し上げます。

組合員と地域社会の期待に応えるために一層の努力を

千葉県生活協同組合連合会
会長理事　田井修司

謹んで新年のお慶びを申し上げますと共に、旧年中に千葉県の生協に寄せられましたご支援とご協力に対し厚くお礼申し上げます。

千葉県生協連は、昨年、おかげさまで創立65周年を迎えることができました。記念事業として、千葉県こども病院に、病気とたたかっている子どもたちを支援するための寄付をさせていただき、千葉日報紙上に、森田千葉県知事はじめ各界のメッセージもいただいて、65年の歴史と現状、今後の課題などを特集として掲載いたしました。

また、生協は県内43の自治体と高齢者の見守りに関する協力協定を締結していますが、昨年10月に、千葉県とも、高齢者を孤立させないための見守りや認知症への理解などに協力する協定を締結いたしました。介護保険制度の改訂に伴う「新地域支援事業」や将来の「地域包括ケアシステム」に向け、高齢化する地域社会で果たすべき役割りについて、これからも真摯な取り組みと検討を続けて参ります。

本年5月には、核兵器削減に向けて重要なステップとなる「核不拡散条約（NPT）」の5年に一度の再検討会議がニューヨークで開催されます。生協では、代表派遣のための募金や署名活動に取り組んできましたが、こうしたことをきっかけに核兵器の廃絶と平和を考える活動も一層広げていきたいと考えています。東日本大震災の被災地、被災者に対する支援も息長く続けて参ります。

本年も、生協の基本である日常的な事業活動を更に発展させることと合わせて、以上の課題についても、生協らしい取り組みを進めていく所存です。関係各位の引き続くご支援ご協力を心からお願いして新年の挨拶とさせていただきます。

安心と信頼を勝ち取るために

中央労働金庫千葉県本部
本部長　日高　英彦

新年明けましておめでとうございます。働く者の福祉金融機関としてこれまでも精進してまいりましたが、今年の4月からは新たな3年間の中期計画を策定します。その中期計画を推進エンジンとして更なる役割発揮に向け奮闘する所存です。

異次元の金融緩和でも景気動向は必ずしもはっきりせず、株式相場のみ反応している状況で、今春闘にて賃上げが実現し、消費マインドが高まる事が期待されます。そして消費マインドの高まりの為には、しっかりとしたライフデザインが描かれている事も重要と考えます。

私たちとしても額に汗して働く一人ひとりの方たちのライフデザインを、安心・充実したものにする為に出来うる限りの提案を職場に伺って実践していきます。

新システムの導入により、ATM手数料の即時フルキャッシュバックを実施しています。セブン銀行では365日、24時間、何時でもお金を下ろすことが出来る様になりました。その際、乳がん患者の方たちを支援する為の基金に1円寄付する「ピンクリボン運動」も同時に実施されます。

働く皆様に共感される金融機関を目指しての取り組みの一つとしてご紹介します。

今後も利便性の向上に向けた商品やサービスの開発を進めます。

会員の皆様から信頼される金融機関になる事を役職員一同心に誓って職務を遂行していきますので皆様方のより一層のご指導とご鞭撻を頂戴できれば幸いです。

連合運動を質・量ともにパワーアップをはかる

連合千葉
会長　鈴木　光

新年明けましておめでとうございます。皆様にとって本年が希望に満ちた年でありますようご祈念申し上げます。

我が国は、社会・経済が成熟化しつつも、少子・高齢化が加速する中で、人口減少局面に入っています。また、低成長とデフレ経済が継続し、企業は短期的な利益確保や株主重視の姿勢を強め、賃金の低下、非正規労働者の増加や所得等の格差拡大など、いわゆる中間層の減少と格差の拡大は社会の安定成長の基盤を揺るがす状況を招きました。

現在、政府内では「成長戦略」の名のもとに「労働者保護ルールの改悪」が検討されており、「働くものを犠牲にした経済成長」を許してはなりません。

連合は、社会・経済の活力の源泉である「働くこと」の価値を削ぐ政策に対し、警鐘を鳴らすとともに、「働くことを軸とする安心社会」実現のためしっかり対峙していきます。

とりわけ、2015春季生活闘争は、労働組合の社会的責任が大きく問われる闘いであり、連合は、「賃上げ」「時短」「政策制度実現」を3本柱に位置付け、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現と「デフレからの脱却」と「経済の好循環実現」に向けて、継続して賃金の引き上げを求めていきます。また、永年の課題である「働き方」「休み方」に対する意識改革を含めたワーク・ライフ・バランスが保障された社会の実現と「人への投資」による生産性の向上をはかり、企業はもとより国内の経済全体の付加価値を高めていく必要があります。さらに非正規の皆さんの処遇改善や男女間の格差是正と暮らしの底上げのために、構成組織は月例賃金に拘る取り組みと結果が求められる極めて重要な春季生活闘争であります。

連合千葉は、労働運動の再構築のために、「連合運動を質・量ともにパワーアップをはかる」ことを基本に、千葉県労福協の皆さんとの連携強化をはかりながら、本年も運動を着実に実践して参ります。

2015年 年頭挨拶

労働者福祉中央協議会
会長 古賀 伸明

新年明けましておめでとうございます。

世界的に格差と貧困が進む中、一部の層だけが富を享受し、社会の分断を推し進めるのか、それとも、社会の裾野に光を当てて包摂的な成長をめざすのか。私たちは大きな岐路に立っています。深刻化する労働市場の劣化や、奨学金という名の多額の借金が若者を追い込み、結婚や子育てをも困難にしています。このまま進めば、人口減少の加速に加え、いわゆる「中間層」が解体し、社会の存続そのものが危うくなりかねません。

世界でベストセラーになっているトマ・ピケティ氏の「21世紀の資本」は、市場に委ねるだけでは格差の拡大が続いていくと指摘しています。欧米の政労使の政策担当者たちと議論をすると、口々にこの本のことが話題となります。経済的効率の追求だけでなく、社会性や人と人との絆、協同の仕組みが組み込まれた公正な社会づくりは、世界共通の課題なのです。こうした観点からの政策論争が昨年末の総選挙で深まらなかったのは残念ですが、私たちは世界の潮流を見据えて運動を進めていきたいと思います。

今年の4月には、いよいよ生活困窮者自立支援制度がスタートします。官民の幅広いネットワークでより良い制度にし、誰もが排除されない社会や地域づくりにつなげていくことが必要です。同時に、労働者保護ルールの改悪やナショナルミニマムの切り下げなど、貧困や格差を助長する政策には毅然と対峙していかなくてはなりません。中央労福協は、地域・現場での問題解決と政策改善・社会運動の両面から取り組みを強化してまいります。

労働者自主福祉事業については、運動の原点や今日的な意義を改めて見つめながら、労働運動との連携を強固なものにし、職場に、地域に、共助の輪を広げていくことが必要です。ライフサポート事業も、これまでの成果と課題を検証しながら、次のステップへとつなげていきたいと思います。

「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向けて、ともに前進しましょう！

本年もよろしくお願いします

（一社）千葉県労福協役員

会長 黒河 悟 連合千葉
副会長 日高 英彦 中央労金千葉県本部
副会長 細根 洋 全労済千葉県本部
副会長 丸山 芳高 千葉県生協連
常務理事 小柳 光廣 千葉県労福協
理事 牧野 昌子 NPO法人地域創造ネットワークちば
理事 齋藤 政洋 連合千葉
理事 椎名 衛 連合千葉・自治労千葉県本部
理事 保田 武利 連合千葉・UAゼンセン千葉県支部
理事 三上 光明 連合千葉・基幹労連
理事 小川 悟 連合千葉・県私鉄
理事 榎澤 淳一郎 中央労金千葉県本部
理事 椎名 寛幸 全労済千葉県本部
監事 金子 祐貴 連合千葉・電機連合
監事 川野 佳道 中央労金千葉県本部
監事 富田 信夫 全労済千葉県本部
顧問 栗田 忠宏 初代会長
顧問 岡田 勝 2代目会長
顧問 小泉 津都武 3代目会長

地区労福協役員

安房地区 会長 水上 賢治
市川・浦安地区 会長 小原 信夫
匝瑳地区 会長 山崎 良夫
銚子地区 会長 伊藤 隆司
長生・茂原地区 会長 大矢 賢治
千葉市地区 会長 平野 盛士
野田地区 会長 芝崎 琢巳
八千代地区 会長 後藤 道宣
NPO法人 子育て支援グループ「ハミングちば」 理事長 小柳 光廣

市民との協同による子育て支援の推進を！

NPO法人 子育て支援グループ「ハミングちば」
理事長 小柳光廣

新年あけましておめでとうございます。旧年中は千葉県労福協をはじめ、連合千葉を中心とする労働組合、福祉事業団体の皆様に力強いご支援を頂き心より御礼を申し上げます。

「ハミングちば」は子育て支援を目的に、千葉県労福協が市民との協同で2002年7月に設立した組織で、18名の会員でスタートし13年目の活動に入っています。

「ハミングちば」の名称は、ハミングの出るような明るい子育てが出来るように子育て支援を行なおうとして名付けました。子育ての隙間だけではなく心の隙間を埋められるような暖かな活動を行っていこうという理念のもとに取り組み、昨年12月時点で支援時間の累計が1万5百時間を超えました。長年に亘るお助け会員のボランティアによる地道なご努力により「ハミングちば」を支えて頂きました。

子育て支援の環境も国や自治体等の取り組みが大きく前進し、支援数は減少傾向が続いていますが、まだまだ、この取り組みを必要としている皆さんが多くいるものと受け止めています。本年は広報活動を強化し、そうした皆さんの掘り起こしを進めるとともに、子育てセミナー等を通じ、担い手であるお助け会員の拡大をはかる取り組みを進めていきたいと思います。「助け合い、支え合う」「人と人の絆」を大切に役員・お助け会員一丸となって取り組んでいきます。

皆さまのご多幸をお祈り申し上げますとともに本年も変わらぬご理解ご支援をよろしくお願い申し上げます。

♪楽しく子育て支援を♪

子育てサポートセミナー

受講生募集

子育てに必要な病気・ケガへの対処法と危機管理、そして、子どもが喜ぶ遊び方が学べます。

日時 2015年2月17日（火）
午前9時30分～16時30分

場所 千葉市生涯学習センター研修室2
（中央区弁天）

参加費 500円（テキスト代他）

定員 千葉市在住の方　30名
（定員になり次第締め切ります）

受講条件 子育て支援に興味のある方

問合せ・申込先 NPO法人
子育て支援グループ「ハミングちば」
TEL 043－301－8309
（月～金　12時～16時）

受付期間 2015年1月15日（木）～1月30日（金）

主催 NPO法人
子育て支援グループ「ハミングちば」

共催 一般社団法人 千葉県労働者福祉協議会

後援 千葉市

時間	カリキュラム	講師
9:30～9:50	ハミングちばの紹介	
9:50～12:00	緊急時の病気・ケガの応急処置と危機管理	「こどもの城」子育て電話相談員 看護師 山村　芙美子さん
12:00～12:45	休憩	
12:45～13:50	子どものための心肺蘇生法	応急手当インストラクター
14:00～15:30	子どもとの接し方と子どもとの遊び（体験学習含む）	保育士
15:30～16:30	ハミング会員との交流（日頃からボランティアのこと、子育ての悩みや疑問、考えていることなど一緒に語り合いましょう）	

２年間の中断を経て

第11回 勤労者ボウリング大会 開催される!!

２０１４年11月29日（土）ＪＦＥ千葉リバーレーンにおいて第11回千葉県勤労者ボウリング大会が開催されました。２０１２年12月の第10回以降、２年ぶりの開催となりました。勤労者ボウリング大会は千葉県労福協と千葉県労働者福祉センターが統合し、（社）千葉県労福協となった２００３年にスタートしました。

２０１３年は千葉県労働者福祉センター終息や一般社団移行等の課題があり中断していましたが、久しぶりの再開にもかかわらず多くの皆さんに参加を頂きました。地区労福協での予選会を勝ち上がってきたチームや長年に亘り参加頂いてきた労働組合、福祉事業団体からも参加頂き、和やかでかつ真剣な大会となりました。また、表彰式も多くの皆さんに参加頂き、千葉三立梱包運輸Ａチームが見事、団体・個人（佐藤さん）とも制しました。明るく楽しく盛り上がった表彰式となりました。ご協力に感謝申し上げますとともに、次年度はより多くの参加者が集う大会にしていきますので一層のご協力をお願いいたします。

個人

順位	競技者名・チーム名	HD込みトータル	1・2ゲーム（HD込み）
優　勝	佐藤　光展（千葉三立梱包運輸Ａ）	411	216・195
準優勝	小山　幸恵（千葉三立梱包運輸Ａ）	383	162・181
3　位	高橋　良孝（ＪＦＥスチールＢ）	376	226・150
4　位	加瀬慎太郎（ＪＦＥスチールＡ）	349	194・155
5　位	濱田　愛（ＪＦＥスチールＡ）	344	138・166

団体

順位	チーム名	HD込みトータル	1・2ゲーム（HD込み）
優　勝	千葉三立梱包運輸Ａ	1454	763・691
準優勝	ＪＦＥスチールＢ	1292	707・585
3　位	ＪＦＥスチールＡ	1269	640・629
4　位	ガルバテックス労組	1221	656・565
5　位	千葉三立梱包運輸Ｂ	1175	630・545

表彰式

団体の部優勝
千葉三立梱包運輸Ａチームのみなさん

個人の部優勝
佐藤光展さん

中央労福協

第6回 加盟団体代表者会議開催される!!

慶應義塾大学
樋口教授

小野労福協
北部ブロック事務局長

古賀会長

中央労福協第6回加盟団体代表者会議が2014年11月28日（金）ホテルラングウッドにおいて開催され2014～2015年度活動方針の中間総括と課題・補強が決定されました。2015年度は、2014～15年度の中間点にあたっての成果や課題を踏まえた継承・発展をはかり、これから進めるキャンペーン活動の検証も反映させながら、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」のさらなる具現化、実践化を進める。ことを確認しました。

また、第2部では「持続可能な社会と地域再生に向けて」をテーマに、特別報告「東日本大震災からの復興～現状と課題」を小野労福協北部ブロック事務局長、記念講演「人口減少社会の実像と地域再生への課題・展望」を慶應義塾大学樋口教授に報告及び講演を頂きました。

伝道師会 近藤会長講演

黒河新会長就任挨拶

遠藤会長挨拶

労働者福祉東部ブロック協議会 第49回 定期総会

新会長に千葉県労福協 黒河会長が就任する!!

2014年12月4日（木）群馬県高崎市において労働者福祉東部ブロック協議会第49回定期総会が構成団体1都10県の地方労福協参加のもとに開催されました。「〝連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会〟を目指し、格差・貧困問題に対峙し取り組んできた。〝2020年ビジョン〟の折り返し点として先々を見据え、今まで以上にうねりを作り取り組んでいかなければならない。特殊な環境下ではあるが、互いの連帯と決意を固める総会としたい。」との遠藤会長挨拶ではじまり、来賓として群馬県、中央労福協、事業団体から連帯の挨拶を頂きました。議事は全て満場一致で承認されましたが、役員改選において新会長に千葉県労福協の黒河会長が選出され、新たな体制のもとに新年度の運動がスタートしました。本総会で退任されました遠藤前会長・大森前事務局長に対し、長年に亘る千葉県労福協へのご指導ご鞭撻に心より感謝申し上げます。総会後の記念講演では、「富岡製糸場と絹産業遺産群～世界遺産登録決定を受けて～」と題し、富岡製糸場世界遺産伝道師協会の近藤会長より世界遺産登録までの長年に亘る取り組みを含めご講演を頂きました。

～千葉県生協連平和のための学習交流会～

「子どもたちに平和な未来を2014」開催

千葉県生協連では、昨年12月1日、京葉銀行文化プラザを会場に「子どもたちに平和な未来を2014」を開催し、200名を超える組合員が参加しました。この学習交流会は、平和の大切さや核兵器の廃絶について考え、平和のための活動を交流することを目的に毎年開催されています。今回は精神科医であり、「ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会」の呼びかけ人の一人でもある香山リカ氏を講師に招き、『「平和」はもう古いのか？』と題した講演をメインに開催しました。

香山リカ氏の講演の様子

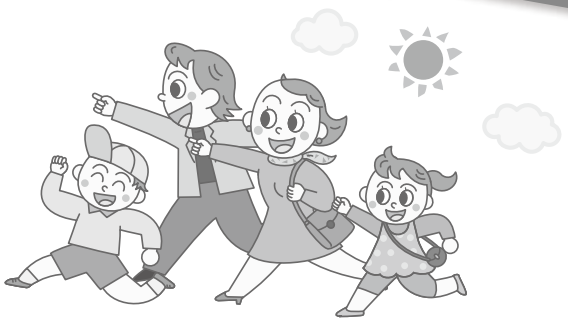
香山氏は、現在の社会をめぐる様々な問題を、精神病理学も踏まえながら分析し、「精神科医として心の病気から立ち直った人が、安心して暮らせる社会に戻れるように願ってきた。私たちが抱えている不安や不満を直視し、正しい解決方法を一人一人が考えて、平和な思いやりのある社会にしていきたい。」と参加者に呼びかけました。続いて、「千葉県原爆被爆者友愛会」、「ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会」、「日本赤十字社千葉県支部」、「千葉県ユニセフ協会」の4つの協力団体が活動報告をおこないました。会場ロビーでは、各団体がパネル展示などをおこない多くの参加者が足を止め熱心に見入っていました。

ロビーでの展示に見入る参加者

参加者からは、「平和な社会を守るために、一人一人が考えるべきこと、やらなければいけないことが理解できました。」「広がりをもっている情報について正しく判断する力を持つことも大切だと感じました。」「普段考えていないことを提起された気がする。」「平和について誰もが語り合える社会になるといいと思う。」など多くの感想が寄せられました。

『加入者の集い』のお知らせ

入場無料!



全労済千葉県本部では、全労済の活動報告やご意見をお聴きする場をかねて「加入者の集い」を開催しています。

今年度は下記の内容で行います。

ご家族でぜひご参加ください。

映画上映会（春休みロードショー作品）

上映予定作品については、**中部支所 ＴＥＬ ０４３－２８７－８２４７**（平日９時～17時）まで、お問い合わせ願います。

※応募者多数の場合は抽選となります。また、南総・市原・外房エリアの加入者を優先させていただきます。

南総・市原・外房地区（共催）

2015年４月４日（土）９：30～11：50
（時間は変更となる場合があります。）
ＵＳシネマ木更津
定員２５０名

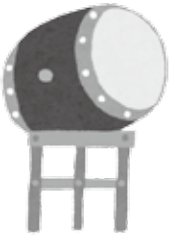
市原・外房・南房地区（共催）

2015年４月11日（土）９：30～11：50
（時間は変更となる場合があります。）
ＴＯＨＯシネマズ市原
定員２５０名

太鼓打ち《ひむかし》による衝撃の和太鼓パフォーマンス

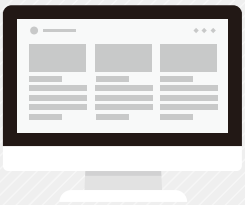
総武地区

2015年５月17日（日）
13：00～15：00
ＪＲ船橋駅前きららホール
定員２００名



千葉地区・北総地区・東葛地区

内容が決定次第『全労済千葉県本部』ホームページにて紹介します。



お申し込み・お問い合わせ

全労済千葉県本部ホームページからお申し込みできます。

全労済千葉県本部　検索

中央ろうきん 千葉地区３支店で周年記念レセプションを開催

本年度、支店開設60周年を迎えた茂原支店と30周年の柏支店、成東支店ではそれぞれ推進機構と連携し、会員の皆様とともにお祝いの記念レセプションを開催しました。周年行事を契機に、今後も「生活応援運動」を推進していきます。

茂原支店

会員・推進機構を始め、元金庫役員、支店職員の総勢62名が出席し盛大に開催

柏支店

参加者全員で楽しんだ「ルペさんのマジックショー」

成東支店

世界６位の「ヨーヨー」を披露した大沼職員

ネットワーク団体活動のご紹介

千葉県労福協は、「地域創造ネットちば」、「協同労働の協同組合ネットワークちば」、「フードバンクちば」、「消費者行政充実ネットちば」、「貧困問題を考える懇談会」や「ひと・くらしサポートネットちば」等に参加し、市民との協同や幅広いネットワークで社会的課題に取り組んでいます。

この間の主な取り組みについて紹介・報告します。

「おいしい　たのしい　第4回ちばユニバーサル農業フェスタ2014 in 四街道」開催されました！

「ユニバーサル農業＝みんなで関わる農業」

さまざまな人々が農業を通じて、出会い、交流し、はたらきあう、新しい農業のかたち「ユニバーサル農業」の考えを広め、出会いの場を提供するために「ちばユニバーサル農業フェスタ」を企画、有数の農業生産県である千葉県から、「農業の持つ可能性」や「農の価値」をアピールしました。

前広場会場

日時：2014年11月22日（土）10時～15時
会場：四街道市文化センター駐車場、前広場、屋内
主催：ちばユニバーサル農業フェスタ実行委員会、四街道市みんなで地域づくりセンター、四街道市地域振興財団

駐車場会場

当日は、晴天に恵まれ、多くの出展者、来場者が参加し、家族連れで楽しめるイベントとなりました。参加団体は県内20市町から70団体（福祉・作業所、農業事業所・会社、生協関連団体、他NPO）、2，200人の方々に来場いただきました。

開催までの広報活動で「ユニバーサル農業＝みんなで関わる農業」について発信、当日は、出展団体同士、出展団体と来場者が、情報交換し交流する場となりました。

屋内会場

皆さまのご協力で5・45tの食品が集まりました！ フードバンクちば 第8回フードドライブ

「フードバンクちば」は2012年5月の設立以来、余剰食品を福祉施設や、生活に困窮する世帯に提供してきました。特に最近では、高齢者や母子・父子家庭だけでなく。失業や疾病により収入が無くなってしまったため困窮し食品支援を求める方が増えています。「フードバンクちば」では各市の社会福祉協議会や公共・民間の相談支援機関を通じて困窮する世帯への食品支援を行っています。食品は企業や一般家庭・農家等から提供を受けるとともに、賞味期限があってもお使いにならない等の理由でご家庭に眠っている食品を一定の期間、県内に広く窓口を設けて回収するフードドライブを実施しています。受取窓口は地域でご協力を頂いている社会福祉協議会や支援機関と千葉県労福協が行っています。

昨年9～10月にかけ実施した第8回のフードドライブでは5・45tの食品提供を頂きました。ご協力に感謝申し上げますとともに第9回フードドライブへのご協力をよろしくお願いします。

鴨川市社会福祉協議会での受取

千葉県労福協も受取窓口です

第9回フードドライブ
2015年1月13日（火）～2月27日（金）

お問い合わせ
フードバンクちば　TEL 043（375）6804
千葉県労福協　TEL 043（241）6681

第９回フードドライブ

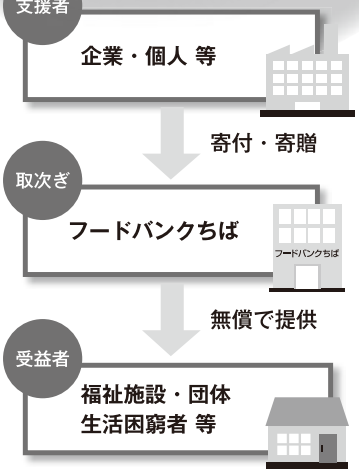
ご家庭に眠っている食品大募集！

日本では年間約 2,000 万トンの食品が廃棄され、その中にはまだ食べられるのに捨てられてしまう食品が 500～800 万トンもあると言われています。ご家庭で不要な食品があればぜひご寄贈ください。いただいた食品は「フードバンクちば」が責任を持って福祉施設・支援団体などを通じて生活に困窮している方にお配りします。皆さまのご協力をお願いいたします。

フードバンクとは

包装の破損や印字ミス、賞味期限に近づいた等といった理由から、品質には問題がないにもかかわらず廃棄されてしまう食品・食材を、企業や個人等から引き取り、必要としている福祉施設・団体等や生活困窮者へ無償で提供する活動です。食品ロスを削減し、企業や個人の社会貢献を推進することで、食品確保が困難な方々の役に立つという新しい食のリサイクルの形でもあります。

● 食品・食材の流れ



フードドライブ＜食品の回収＞にご協力ください！

平成27年 1／13（火）～ 2／27（金）

平日 9：00～17：00

受け取り窓口 **フードバンクちば 他県内各所**

※千葉県労働者福祉協議会でも受け付けています。

主催：フードバンクちば　　共催：千葉市社会福祉協議会

協力：印西市社会福祉協議会・鎌ヶ谷市社会福祉協議会・鴨川市社会福祉協議会・君津市社会福祉協議会・栄町社会福祉協議会・佐倉市社会福祉協議会・酒々井町社会福祉協議会 ・白井市社会福祉協議会・東金市社会福祉協議会・富里市社会福祉協議会・習志野市社会福祉協議会・成田市社会福祉協議会・富津市社会福祉協議会・茂原市社会福祉協議会・八街市社会福祉協議会・八千代市社会福祉協議会・四街道市社会福祉協議会

寄付いただきたい食品

- □ 穀類（お米、麺類、小麦等）
- □ 保存食品（缶詰、瓶詰等）
- □ 乾物（のり・豆など）
- □ 調味料各種、食用油
- □ インスタント食品・レトルト食品
- □ 飲料（ジュース・コーヒー・お茶等）
- □ ギフトパック（お歳暮・お中元等）

食料の支援要請が急増しているため、フードバンクちばの在庫が不足しています。少しでも多くの方々のご支援をお待ちしております。

注意いただきたい点

1. 賞味期限が明記され、かつ１ヶ月以上あるもの
2. 常温で保存が可能なもの
3. 未開封であるもの
4. 破損で中身が出ていないもの
5. お米は常識の範囲内で古くないもの

受取窓口
フードバンクちば ワーカーズコープちば 企業組合労協船橋事業団 サポートセンターオアシス内
〒263-0023 千葉市稲毛区緑町1-25-11コーポ立花101 ✉fbchiba@jigyoudan.com 💻http://foodbank-chiba.com
☎043-375-6804 平日9:00～17:00 📠043-242-8900

千葉県労働者福祉協議会
千葉市中央区中央港 1-24-14
シースケープ千葉みなと３階
TEL.043(241)6681

ZENROSAI NEWS

変わりゆくニーズに応えて、
変わらない安心をカタチに。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら
全労済
全国労働者共済生活協同組合連合会

新年のご挨拶

日頃より全労済の活動に
ご協力いただき
ありがとうございます。
本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は多くの自然災害がありました。
いつ起きてもおかしくない火災や自然災害から暮らしを守るために全労済の火災共済・自然災害共済で備えましょう。

お見積もりはホームページまたは
右記コードをお読み取りください。

全労済千葉県本部　検索

（千葉県勤労者共済生活協同組合）

ローンのこと、お金のこと、いろいろ聞きたいことありませんか？

相談会の日

毎月 第3土曜
開催時間 10:00~17:00

車の購入費
教育費
みんなはどうしてる？

資産運用
始めたい！

住宅ローンのこと
知りたい！

ローンのこと
お金のことなら

「中央ろうきん」に相談しよう！

※一部未開催の店舗がございます。※店舗によって相談会の開催時間が異なる場合がございます。※事前のご予約がないお客様につきましては、お待ちいただくか、ご相談時間を別途ご調整させていただくことがございますので、予めご了承ください。※詳しくは〈中央ろうきん〉営業店またはホームページにてご確認ください。

相談会にご来場いただけない方もホームページから　住宅ローンWeb簡易審査申込好評受付中！
最新の金利・商品の詳細をホームページでご確認いただけます　中央ろうきん　検索　http://chuo.rokin.com/

お問い合わせ・ご相談は
中央労働金庫千葉県本部
TEL.043-251-5162

あんしん創造バンク
中央ろうきん

2015年1月発行　発行／（一社）千葉県労働者福祉協議会　http://www.rfk-chiba.net
千葉市中央区中央港1-24-14　SEASCAPE千葉みなと３階　TEL.043-241-6681　編集・印刷／㈱メロウリンク企画